



ハケ岳南麓名水ウォーク

2014.08.24 13km ゆったり7km

コース紹介

清里駐車場からスタートして、JR小海線沿いの木陰道を歩き、**吐竜の滝**に行きます。白糸の滝の小型版のような美しい滝です。見上げると小海線の鉄橋があり、運が良ければ列車がゴトゴト音を立てて走るのを見ることができそうです。滝を見た後はやや急な登りの山道を行きますが、それを過ぎると大きく広がる草原があり、晴れた日にはハケ岳の雄姿を見ることができます。そして出発点の清里駐車場に戻ります。滝直後はやや急ですので足に不安のある方は吐竜の滝からもと来た道に戻っていただいたほうがいいでしょう。駐車場でトイレを済ませ、バスで**三分一湧水公園**まで行って昼食です。広い公園は木陰が多く、ざぜん草の群生も見られます。午後はここから**信玄棒道**を歩きます。道の脇には昔をしのばせる道祖神や道標が点在していて飽きさせません。午後のゴールは**道の駅こぶちざわ**です。ゆったりコースを選択した方は、三分一湧水公園でゆっくり時間を過ごした後、バスで道の駅近くまで行き、1kmほど歩いてゴール到着です。足湯や農産物直売所の買い物を楽しんでください。

コース

往路(バス)	富士宮駅南口 == 双葉IC(WC) == 長坂IC == 清里駐車場(体操・WC)
	7:00 8:20~35 9:20
ウォーク	清里駐車場(スタート)・・・吐竜の滝・・・清里駐車場(WC) == バス移動 ==
	9:35 10:25~35 11:25~40
	三分一湧水(昼食・WC)・・・信玄棒道・・・道の駅こぶちざわ(ゴール・WC)
	12:00~13:00 14:50~15:10
復路(バス)	道の駅こぶちざわ == 小淵沢IC == 双葉SA(WC) == 富士宮駅南口
	15:10 15:50~16:10 17:40

参加者の皆様へ

- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

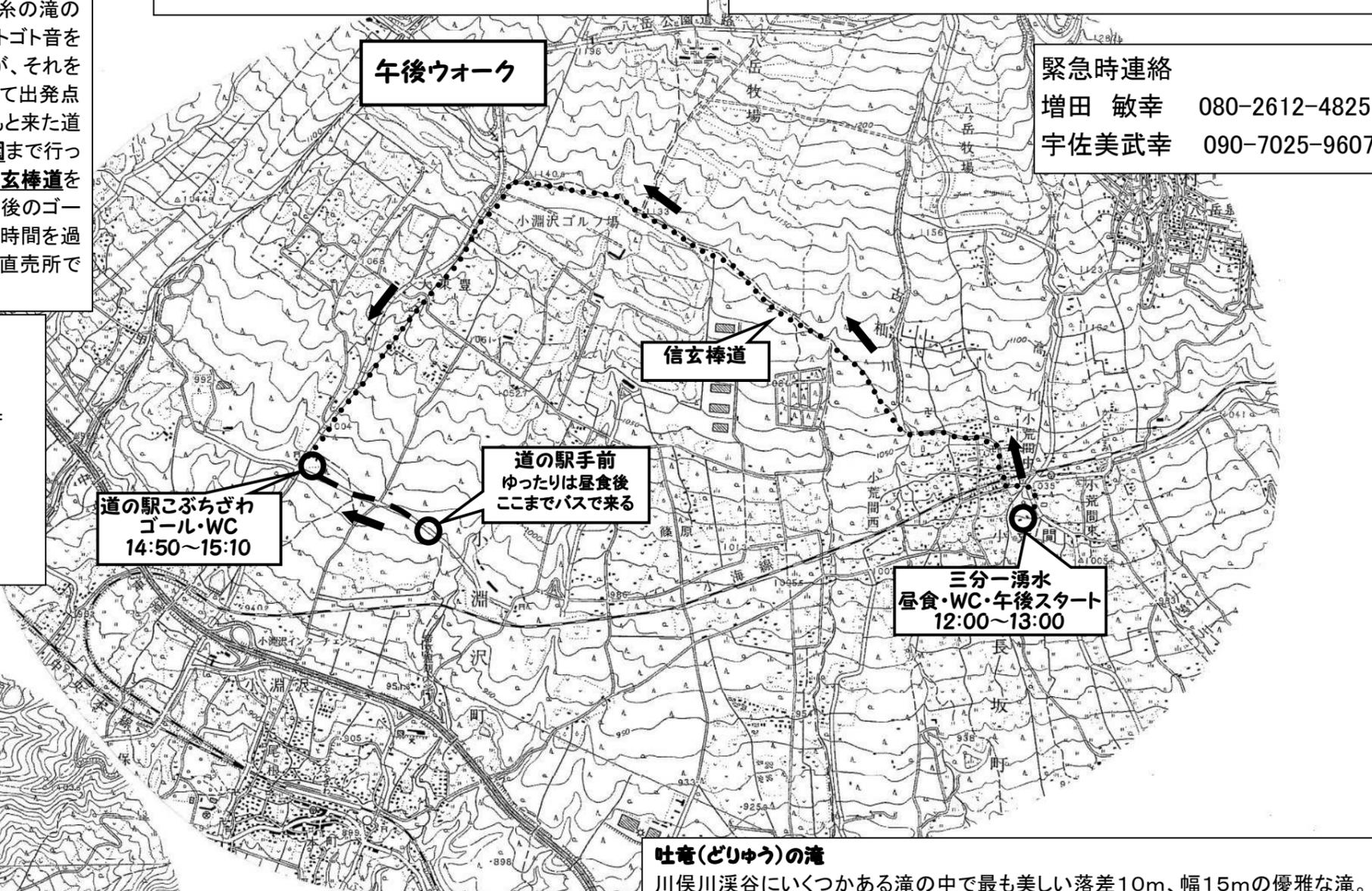
三分一湧水(さんぶいちゆうすい)

三分一湧水は、豊富な水量を誇る湧水を農業用水として利用するための堰。戦国時代の頃、水争いをしてた三つの村に等配分するために武田信玄が築いたという伝説が残っており、その堰の真ん中には三角石柱が設置されていて当時の知恵が現在も残っている。ハケ岳の懐から1日に約8500トンという豊かな湧出量を保ち、水温は年間を通じて約10℃。三分一湧水は日本名水百選にも選定されている。

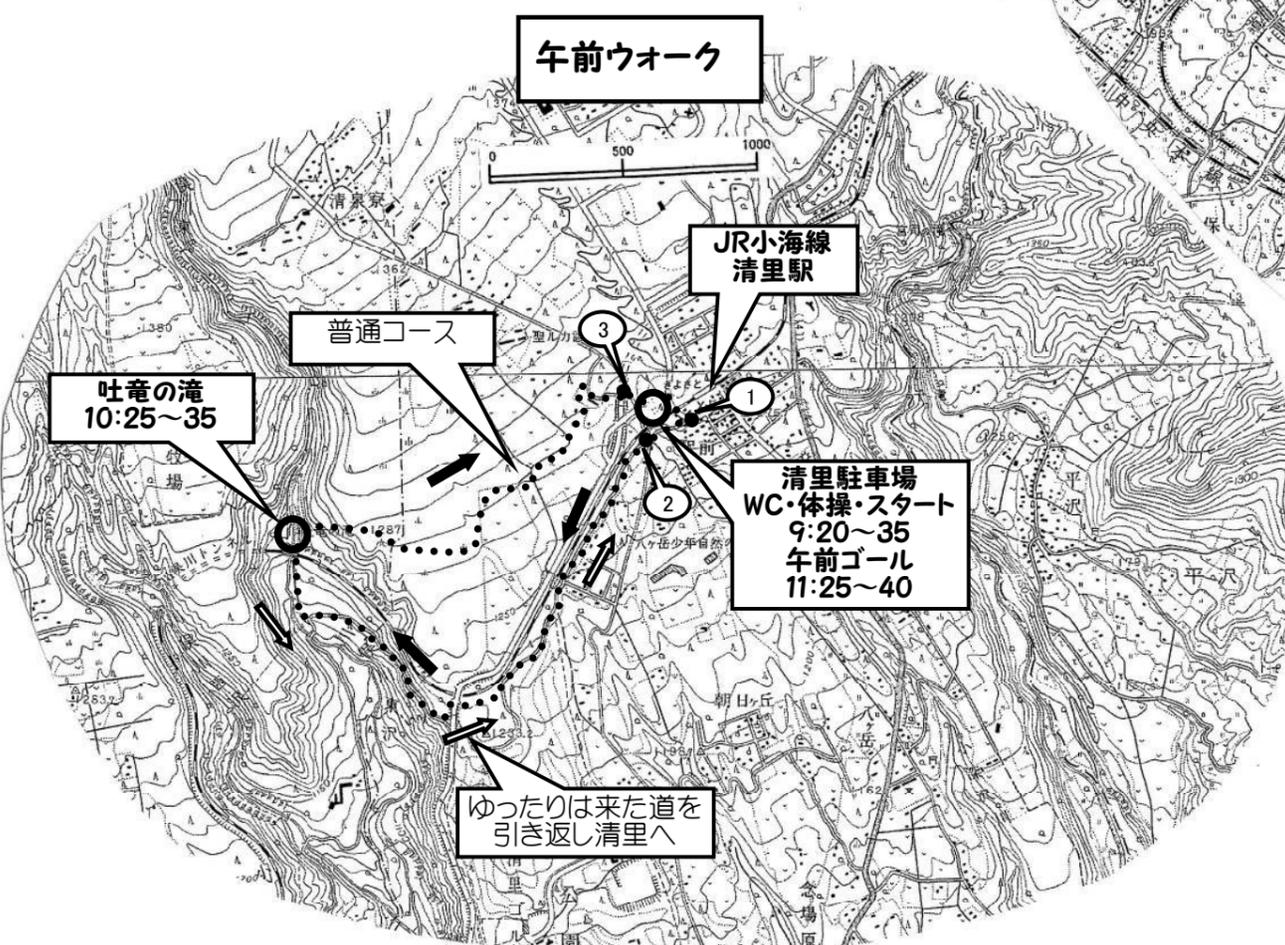
緊急時連絡

増田 敏幸 080-2612-4825
 宇佐美武幸 090-7025-9607

午後ウォーク



午前ウォーク



次回申込 (車内で)

戸隠歴史道・小布施散策一泊ウォーク

- ☆期日 9月7日(日)~8日(月)
- ☆集合 富士宮駅南口 6:00
- ☆参加費 21000円
- ☆切 9月2日(火)
- ☆定員 49人

竜門峡と勝沼ぶどうの里ウォーク

- ☆期日 9月21日(日)
- ☆集合 富士宮駅南口 7:00
- ☆参加費 3500円
- ☆切 9月16日(火)

吐竜(どりゅう)の滝

川俣川渓谷にいくつかある滝の中で最も美しい落差10m、幅15mの優雅な滝。岩間から絹糸のように流れ落ちる神秘さから「吐竜の滝」と名づけられた。何段にも落ちる滝の姿は風情のある景色を作り上げている。川俣川渓谷(吐竜の滝～東沢大橋)沿いには、遊歩道が整備されているので、トレッキングをしながら渓谷美が堪能できる。

信玄棒道(ぼうみち)

棒道は、武田晴信(信玄)が開発したとされている軍用道路。ハケ岳南麓から西麓にかけての甲信国境(甲斐国(山梨県)と信濃国(長野県)の境)を通る。甲斐国北西部の逸見筋(現在の北杜市域)にあたる山梨県北杜市(旧北巨摩郡小淵沢町、長坂町)や長野県富士見町には現在でも上の棒道、中の棒道、下の棒道の三筋が残されており、それぞれ市・町指定の史跡となっている。地元では信玄棒道と呼ばれており、「棒道」の由来は、荒野にまっすぐ一本の棒のように存在していたので棒道と呼ばれるようになったとされる。別名は大門嶺口(だいもんどうげぐち)。